

# 松徳会広島県支部だより

第26号

支部長あいさつ

## 「松徳会 ～更なる明日へ～」

能方 恭子

能登半島地震のニュースから始まった2024年、衝撃の年明けでした。なす  
すべもなくただただテレビ画面をみていました。

あれから3ヶ月、なかなか進まない復旧に心を傷める日々、私達に何が出来るの  
でしょうか？ 一日も早い復旧・復興を祈る事しか出来ません。

“備えあれば患いなし” 災害時への備えを日頃から考えることが大切だとも改め  
て学んだ年明けでした。

さて、今年も“桜だより”が話題になる季節になりました。支部会員の皆さま  
お元気でお過ごしでしょうか？

昨年は4年ぶりに「県支部総会」を開催する事ができ、会員の皆さんと和やかで  
楽しい時間を過ごしました。その様子は別紙の写真をご覧ください。

学園は昨年10月創立百周年記念式典を盛大に挙行し、学園創立百周年記念館が  
お披露目されました。これからこの記念館（体育館）で学生達がどのような学び  
を体験するのかを想像しただけで私もワクワクしてしまいます。楽しみです  
ね！！

松徳会は昨年「創設80周年記念誌」を発行しました。80年の歴史がくわし  
く刻まれています。ご覧になりたい方はご一報ください。

『支部だより』も今回で26号になりました。歴史の重みは活動の支えです。

100年前に思いをよせ、100年後の夢を見ながら明日の松徳会を支えて行き  
ましょう。



## 令和5年度活動報告

### ① 広島県支部活動

- ・ 総会報告 日時 令和5年7月1日(土) 11:00~15:00

場所 ひろしま国際ホテル 参加者 16名

《審議事項》すべて承認

- 1、 令和4年度事業報告
- 2、 令和4年度収支決算並びに監査報告(別紙)
- 3、 令和5年度事業計画
- 4、 令和5年度予算(別紙)

《報告事項》松徳会本部報告

5月 評議委員会(書面評決)

6月 総会・懇親会リモートにて開催

10月 創立百周年記念式典・シンポジウム

《懇親会》「笑いヨガ」講師 坂元百合子氏

講師の軽妙なトークで会場が笑顔いっぱいになりました

その様子は別紙の写真をご覧ください

- ・ 理事会報告 1. 第一回理事会 令和5年7月1日(土) 10:30~

於：広島国際ホテル 出席者10名

- ・ 総会前に「総会・懇親会」のタイムスケジュール、担当を確認

- 2. 第二回理事会 令和6年2月3日(土) 11:00~

於：石田学園ビル8階 出席者13名

- ・ 令和5年度総会の振り返り

- ・ 令和6年度総会開催決定 7月7日(日) 11:00~

会場 バッケンモーツアルト中央通り店4階

懇親会 「セルフコンディショニング」講師 毛木瑞穂氏

(頑張らない運動で心と体をゆるやかに)

- ・ 3月末までに会報誌発行

### ② 松徳会本部活動

- ・ 令和5年6月25日(日) 総会・懇親会リモートにて開催 上西理事参加

- ・ 学園創立百周年記念式典・祝賀会・シンポジウムに上西理事と支部長出席

令和5年10月25日(水) 於：学園創立百周年記念館

- ・ 令和6年度松徳会本部行事予定

① 令和6年度評議員会 令和6年5月12日(日) 支部長出席予定

② 第39回松徳会セミナー 令和6年8月3・4日(土・日) 別紙参照

③ 令和6年度松徳会総会・交流会 令和6年8月3日(土) 開催予定



## 「百周年記念を終えて」

学校法人 二階堂学園理事長

石崎 朔子

桜の花も咲きはじめ春らしくなりました。

広島県の松徳会の皆様お元気でしょうか。昨年の百周年記念式典の折には多くのご支援、ご協力を賜り誠に有難う存じました。お陰様を持ちまして記念事業であります百周年記念館の建設、記念誌の発行、並びに式典が盛会のうちに終了し安堵しているところです。

この百周年記念館建設は学長時代に計画したのですが、理事長就任と同時にコロナ感染が世界中に蔓延し何もかもが停止してしまい、無事に記念式典が迎えられるのだろうかと不安に襲われました。しかし、ワクチンによるコロナ感染対策が進み徐々に世の中が動き出し、予定より遅れはしましたが希望した地下 2 階地上 7 階の建物が立派に完成致しました。松徳会の皆様からご寄贈いただきました緞帳も威厳ある見事な姿でトクヨ記念講堂に収まっております。これから先もずっと我々の後輩の活躍を見続けてくれるものと感慨深く思っている次第です。

私事ですが、広島県には特別な想いを持っており、勝手に親近感を感じている一人です。それは 1996 年の広島国体の総合開会式における集団演技の創作・指導のご依頼を受け、かれこれ 3 年間ほど通いました。阪神大震災の後は飛行機で、開通してからは新幹線で東京広島を往復したのです。幼・小・中・高・一般婦人のマスゲームの演技構成を現場の先生方と一緒に創作することの難しさと、出来上がったときの喜び、そして本番ではその出来具合に一喜一憂しての感動は忘れることは出来ません。若輩であった私が、広島県の教育関係者や国体局の皆様の支えと交流により大役を果たすことが出来た事は、その後の私の人生にとって大変貴重な経験となり、この事で得た人との繋がりは人生の宝になりました。あれから既に 27・8 年が経過し、時の流れの速さをしみじみ感じております。

結びに、広島県松徳会の皆様におかれましては、これからも益々お元気でお活躍できますように願っております。



## 「広島県支部会員の皆様へ」

日本女子体育大学・大学院同窓会  
松徳会 会長 山下 敬緯子

はじめに、令和6年元日に発生した石川県能登半島地震により、甚大な被害を受け、お亡くなりになられた方、被災された方に心よりお見舞い申し上げますとともに、一刻も早い復旧、復興を祈念しております。広島支部会員の皆様にご挨拶できる機会を頂戴し、とても光栄に存じます。

昨年、学校法人二階堂学園百周年記念事業の各記念行事が滞りなく執り行われましたこと、そして松徳会創設80周年記念事業の記念誌発行並びに松徳会会員の集いの企画運営に尽力いただきました関係各位に深く感謝申し上げます。大学のキャンパス内に建設されました二階堂学園創立百周年記念館を直にご覧になられていない広島県支部会員の皆様には、機会を捉えて、ホームカミングを歓迎いたします。おいでになられれば、百年の節目とともに大学の未来に大きなインパクトをもたらしていることを実感できると思います。なお、大学公式インスタグラム、松徳会HPに式典、シンポジウムの映像等ご覧いただけます。加えて、当記念館は、学内に止まらず、広く地域、外部団体等イベントや研修会などに活用してもらうことを大いに歓迎しています。

さて、本年5月の評議員会にて、役員改選の運びとなります。次代を担う役員、会員に繋ぐ責任を果たし、来る8月、本学にて開催されます第39回松徳会セミナーが参加者にとってより有益な研修の場となりますよう皆様の参加をお待ちしております。

会則変更により、役員任期が2年から3年になります。最も大きな課題は、財政対策を講じながら、学生への経済的支援の充実と会員の各世代にマッチングしたニーズの高い研修の企画運営です。発想転換の時期ととらえ、組織体制の改善も視野に入れながら、会員の皆様から納得いただける運営に役員一同尽力して参ります。



# 「学園創立百周年記念式典に参加して」

支部長 能方恭子

1922年、代々木にトクヨ先生が「二階堂体操塾」を創立してから100年、それを記念して立派な記念館が建設されました。

10月25日の前夜、中央高速道を走っている時高井戸あたりでしょうか、ふと外に目をやると『日本女子体育大学』という文字が夜空にはっきり浮かび上がって見え、“アッ〜”感激の一声、これが7階建ての記念館『日女ここにあり！！』と思いました。

次の日立派な記念館を目の前にし、改めてこれが百年の重みなのだと、そしてここで学ぶことが出来本当に良かったと！！

記念館では“トクヨ先生の胸像”が出迎えてくださいました。会場となった二階堂トクヨ記念講堂は656席もあるそれはそれは立派な講堂で、松徳会から寄贈した「緞帳」があります。席にはそれぞれ寄付銘板が貼られており、広島県支部の銘板もH-8の席にありました。

式典は満席の中肅々と進められ、校歌斉唱で無事終了。その後13団体の学生による「百周年演技発表会」があり、素晴らしい演技に感激しました。

終了後会場を二階に移し行われた祝賀会では、懐かしい先生方、先輩、後輩達と歓談し楽しい時間を過ごしました。

ぜひ県支部の皆さんも、烏山に足を運んで素晴らしい記念館を見てください。



百周年記念館



寄付銘板 H-8



式典会場入口



緞帳

# 学校法人二階堂学園創立百周年記念事業

## 「記念シンポジウムに参加して」

県支部理事 上西恵子

〈テーマ〉

Keep the Legacy for the Future ( 壱百周年のレガシーを未来へ )

記念シンポジウムは、基調講演・シンポジウムⅠ・シンポジウムⅡという3部構成で行われました。限られた時間の中でしたが盛りだくさんの内容でした。

基調講演は小宮山 宏氏が「プラチナ社会と女性の活躍」というタイトルでお話されました。サステナブルで希望ある未来社会を築くために、生活や社会の質を求める「プラチナ社会」の実現に向けた取組みの内容で、これからの時代の担い手である学生さんに聞いていただきたいものでした。

シンポジウムⅠは、特に大学にゆかりのある山川 純先生・金井 芙三枝先生・石崎 朔子先生が「女子体育の温故知新～本学名誉教授が振り返る～」というタイトルでお話されました。先生方は若々しく、お元気で、昔と少しも変わられないお姿に驚くほどでした。

お話は懐かしさもあり、学生時代にタイムスリップしたような感覚すら覚えました。

シンポジウムⅡはスピードスケートの小平 奈緒氏、卒業生でダンサーの三東 瑠璃氏、日本女子体育大学准教授でバレーボールメダリストのヨーコ・ゼッターランド氏、陸上長距離界の増田 昭美氏の4名の方々の貴重なお話でした。

小平氏の選手時代のお話は、アスリートとして完璧なまでのトレーニングと食事の管理をご自身でされていて、それが長い間第一線で活躍された源であったことを実感しました。

また、増田氏は、TVでもおなじみの軽快でユーモアたっぷりのお話で、会場を一つに包み込み、そして引き込まれるような感覚を覚えました。さすがの話術は圧巻でした。

卒業生のダンサー三東氏は、これから益々活躍される楽しみな存在だと感じました。日女のダンスはやはりトップレベルの人材を輩出していることに、改めて誇りに感じる方の一人でした。

大学で教鞭をとっておられるヨーコ・ゼッターランド氏も各種メディアへも出演されて幅広く活躍されている方で、学生も大きな刺激を受けながら学ぶことができていることをうらやましく感じました。

どの講師の方々のお話も貴重な経験に基づく濃い内容で、時間がもっと欲しいというものばかりで、百周年の記念シンポジウムに相応しい素晴らしいものでした。

## 「近況報告」

尾三地区 高本 美咲（令和5年3月卒）

私は令和4年度に日本女子体育大学を卒業しました。近くに日女卒業の諸先輩方が多くいらっしゃり心強く感じております。

大学では陸上競技部に所属し、選手としてチームに貢献することはできませんでしたが、この4年間で大会役員やオリンピックでのボランティアなど様々な経験をさせていただきました。また、学部2年から新型コロナウイルスによりいろいろなことが制限されましたが、授業や部活動を行なっていく中でたくさんのことを学び、充実した4年間を過ごすことができました。

現在は三次市内の中学校に勤務し、陸上部の顧問もさせていただいています。授業でも部活動でもまだまだうまくいかないことが多くありますが、日女のスクールモットーである「つよく優しく美しく」を心に、これからも精進して参ります。よろしくお願いいたします。



### ※事務局より

- ・ 県支部の活動は会員皆さまからの会費でなっています。  
令和5年度会費を未納の方は同封の振込用紙にて納入くださいます様  
お願いいたします。
- ・ 住所並びに連絡先等変更がありましたら、必ずお知らせ下さい。
- ・ 令和6年度総会懇親会は7月7日（日）開催予定です。後日ご案内いたしますのでご参加ください。お待ちしております。

お問い合わせ先（連絡先）

〒734-0003 広島市南区宇品東 3-6-33

T E L 082-253-3539 & 090-8714-8021

能方 恭子